

きょう と し た ぶん か し さく しん ぎ かい 京都市多文化施策審議会 ニュースレター No.17



京都市
CITY OF KYOTO

へんしゅう きょう と し た ぶん か し さく しん ぎ かい じ む きょく きょう と し そ う ご う き か く きょ く こ く さい か す い しん し つ
編集：京都市多文化施策審議会事務局（京都市総合企画局国際化推進室）

2015 (平成27) 年10月発行

2015 (平成27) 年度 第2回会議を開催しました

2015 (平成27) 年度第2回会議は、南区東九条の「京都市地域・多文化交流ネットワークサロン」（※詳細最終ページ参照）で開催しました。東九条地域は、在日韓国・朝鮮人をはじめとする外国籍市民等（※）が多く住んでいる地域で、これまでから外国籍市民等を含む地域住民及び各種団体により自主的な地域活動や多文化共生に向けた取組が活発に行われ、「地域に根付いた多文化共生のまちづくり」が実践されている地域の一つです。会議では、第1回会議に引き続き、地域単位での多文化共生社会の実現に向けて、実際に取り組まれている内容について報告を受け、意見交換を行いました。

※外国籍市民等…外国籍市民に加え、日本国籍取得者や日本人との国際結婚による子どもなど、日本国籍を持っていても多様な文化的背景を持つ人々も含めて「外国籍市民等」と言います。



<日時> 2015 (平成27) 年8月31日 (月) 午後2時から4時まで

<場所> 京都市地域・多文化交流ネットワークサロン

<議題> 地域単位での多文化共生の展開について

報告1 — 空き家を活用した留学生の居場所の設置と地域との交流の取組

報告2 — 多文化共生におけるコーディネーター機能について

あ や かつよう りゅうがくせい い ばしょ せっち ちいき こうりゅう とりくみ
空き家を活用した留学生の居場所の設置と地域との交流の取組

ほっかいどうだいがくめい よきょうじゅ やました みき お し
北海道大学名誉教授 山下 幹雄 氏

ほうじん アジアの希望300 かん 姜 なお こ し
NPO法人 アジアの希望300 姜 直子 氏

あ や じっ か りゅうがくせい じゅうきょ ていきょう やました し じっさい にゅうきょ りゅうがくせい せい
空き家となっていた実家を留学生のための住居として提供された山下氏と、実際に入居している留学生の生活支援を行っているアジアの希望300の姜氏。それぞれの立場から御報告いただきました。

やました し
山下氏より

● 留学生住居の整備に至る経過

- 生まれ育ったまちに、何か役に立つことができないかという思いから、空き家となっていた実家をリフォームし、地域の方に活用していただきたいと考えていた。
- どのような団体に利用していただくか検討を進める中で、京都市地域・多文化交流ネットワークサロンの職員のコーディネートにより、アジアの希望300と出会った。そして、アジアの希望300で活動する留学生のための住宅（「ホーム・光」）にすることに決めた。
- 建物は3階建てで、1階には同居する留学生同士、また地域住民との交流に使用できるようなスペースも整備した。



● 留学生に期待すること

- 日常的な挨拶や声掛け、町内会活動や体育祭などへの参加を通して、地域の方々との交流を大切にしたい。
- 文化や習慣の違いを受け止め、その中で「地域と共存する」ということを学んでほしい。

かん し
姜氏より

● アジアの希望300について

- 留学生の生活支援と地域サポートを目的に2013年に立ち上げた団体で、留学生支援バザーや進学相談、地域清掃、異文化交流会などを行っている。
- 地域サポートとして行っている「心と体の健康サークル」では、スタッフである留学生が地域の高齢者や障がいのある方等との交流を深め、地域の方々との交流を通じた学びを経験している。



● 今後の事業展開について一留学生住居「ホーム・光」の整備を通して一

- 留学生にとって、安価でかつ安心して住むことができる家があるということはとても重要で、このことにより学業に専念できるほか、学業以外の時間をアルバイトではなく地域活動に充てることができると思う。
- 今後、「ホーム・光」も1つの拠点として、まずは「地域に根ざす」ことが必要だと思っている。近隣の方に挨拶をする、町内の清掃活動に参加するといった当たり前のことを通して、地域の方と良い関係を築き、子どもたちや障害のある方をはじめとする地域の方々との交流を進めていきたい。

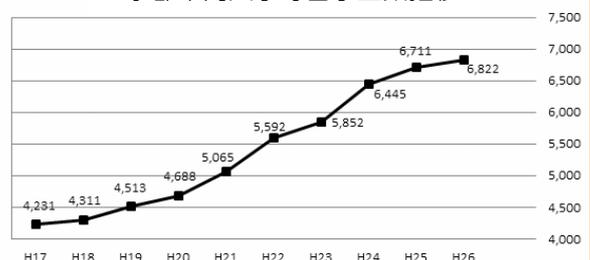
さんこう
参考

— 京都市内大学等の留学生数 —

にほんぜんたい りゅうがくせいすう げんしゅうけいこう なか きょうと し ない
日本全体の留学生数が減少傾向にある中、京都市内
ほんぶ だいがく たん き だいがく ざいせき りゅうがくせいすう
に本部がある大学・短期大学に在籍している留学生数は
ねんねんそう か
年々増加しています。

しゅつてん きょうと し ちいきりゅうがくせいこうりゅうすいしんきょうぎかい ちゅうさ
出典：京都地域留学生交流推進協議会による調査

きょうと し ないだいがくとうりゅうがくせいすうすい い
京都市内大学等留学生数推移



むかいじま
向島ニュータウンでセトルメント事業を行う拠点として活動している「愛隣館研修センター」。そこで、働
つじし とうがい せつめい ふく じれい ほうこく
く辻氏から当該センターの説明も含め、事例を報告いただきました。

●「愛隣館研修センター」のはじまり

- 1979年に向島ニュータウン内に、地域に生きる人たちとともに歩むことを主としたセトルメント事業を行う拠点として開所した。
- 映画上映会や講演会、学習会を企画、実施し、地域の方々との出会いが拡大していった。

●多文化共生に関する取組

- 高齢者も障害のある方も誰もが安心して暮らすことを可能にするため、デイサービスセンター事業、障がい者地域生活支援センター事業などを行っている。
- 中国帰国者が多く居住している地域特性を踏まえ、日本語教室の支援や多様な文化的背景をもつ外国籍市民等の困りごととサポートの実施のほか、地域交流を目的に福祉関係団体等が出店する「向島にっこりフェスティバル」の開催、広報誌の発行等を行っている。

●地域とのつながり、他団体との連携

- センターだけで多文化共生の取組を進めていくには限界があるため、行政や住民組織、学校等が参画する「向島二ノ丸・二の丸北あんしんネットワーク」に参加し、ネットワークとして地域のコーディネーター機能を果たすべく、情報交換、要望活動等の活動を行っている。
- 高齢者や障がいのある方、多様な文化的背景をもつ外国籍市民等、それぞれの方が抱える課題を共有するためにはネットワークの存在が不可欠で、課題共有が誰にとっても住みよい地域の構築、地域の活性化につながると期待している。

いいん いけん ばっすい
委員の意見（抜粋）

- ▶ 留学生にとって、地域住民といるいろいろな交流ができることは貴重な経験（学び）になると思う。「住居」、「アルバイト」、「勉強以外の学び」の3つがパッケージになれば、良い循環が生まれると思う。
- ▶ 地域のコーディネーターとして、人と人、人と組織をつなげるためにどのようにすれば役に立つのかということを考えるためのヒントを得ることができた。
- ▶ 地域で孤立している方を、人（町内会長や民生委員、地域住民）や組織（町内会・自治会、各種地域の団体）とつなげる方法だけでなく、地域で孤立している方に関する情報の入手方法も課題だと思う。
- ▶ 相談窓口や各種団体の情報を記載した冊子を作成し、地域の町内会・自治会の役員や民生委員等に配布し、その冊子を地域で困っている方に渡してもらうということも可能だと思う。
- ▶ コーディネーターという個人というイメージがあるが、愛隣館研修センターでは、組織でコーディネート的な取組を進めておられていて、とても素晴らしいと思う。
- ▶ 地域単位での取組を活発に進めるために、地域住民の中からコーディネーターになってくださるような方を養成できたらいいと思う。
- ▶ 地域に住む外国籍の方と、地域団体の役員等の関係者が懇談し、課題や事情を把握できる機会があれば、町内会・自治会組織に様々な影響を与えたいと思う。

京都市地域・多文化交流ネットワークサロン

南区東九条地域の特性をいかし、地域福祉や多文化共生を促進するための事業を実施しています。

地域交流や多文化交流を目的とする団体に対し、施設提供やホームページや広報誌「京都市地域・多文化交流ネットワークサロン通信」での情報発信、パンフレット等の設置等により、活動を支援します。また、他団体との連携・交流促進の支援も行っています。

〒601-8006 京都市南区東九条東岩本町31

◆開館時間 平日 9時～17時 土・日・祝日閉館

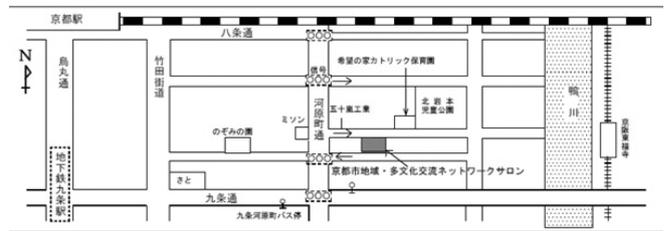
◆連絡先 Tel:075-671-0108

Fax:075-691-7471

Mail:salon_kyoto@ck9.so-net.ne.jp

◆アクセス JR京都駅・市営地下鉄京都駅八条口から、徒歩15分。市営地下鉄九条駅から、徒歩15分。

◆URL: <http://k-tabunka.com/>



京都市総合防災訓練の実施について



8月30日(日)、山科区一帯において、東日本大震災の教訓を踏まえた防災体制のより一層の強化を図ることを目的とする「京都市総合防災訓練」が実施され、約5,000人の京都市民等が参加しました。

会場の一つとなった毘沙門堂では、10名の外国籍市民等と7名の通訳ボランティアとともに、外国籍市民等に対する避難所への誘導訓練、訓練用消火器による消火訓練、文化財の建物からの搬出訓練等を行いました。

事務局からのお知らせ

本ニューズレターや審議会に関する御意見などがございましたら、下記までお寄せください。

(審議会の会議はどなたでも傍聴することができます。)

また、審議会ニューズレターのバックナンバーや英語版を御希望の方は、下記までお問い合わせください。

京都市多文化施策審議会事務局

〒604-8571 京都市中京区寺町通御池上る上本能寺前町 488 番地 京都市総合企画局国際化推進室

TEL: 075-222-3072 FAX: 075-222-3055 Eメール: kokusai@city.kyoto.jp

ホームページ: <http://www.city.kyoto.lg.jp/somu/kokusai/>



この印刷物が不要になれば「雑がみ」として古紙回収等へ!



発行：京都市総合企画局国際化推進室
京都市印刷物第275021号